



【設計のねらい】

計画地は、錦帯橋や岩国城を擁し岩国の歴史的な街並みが今なお残る横山地区に位置する。風致地区に指定されたこの地には、お堀や庭園が広がり観光客と地域住民の憩いの場である吉香公園が隣接するなど豊かな緑と水辺に囲まれた自然環境が形成されている。本計画は、平安時代から続く白山比咩神社と、岩国城主・吉川家の祖霊を祀る吉香神社の両神社における社務所の建て替え計画である。歴史と自然が調和するこの場所にふさわしく、多様な人々に利用され地域に開かれた社務所のあり方を模索した。

建築は、周囲の豊かな樹木との調和を図るため、樹高とのバランスを考慮した平屋建てとし建物の最高高さを抑えた計画とした。

これにより、自然との共生を実現するとともに、周囲への圧迫感を軽減し視線の抜けを確保することで建築が風景に穏やかに溶け込むことを目指している。

ファサードは、左右対称の切妻屋根による構成とした。左右対称の意匠は古来より社寺建築に用いられてきた形式であり安定感や秩序、格式を感じさせるとともに、

訪れる人に心理的な安心感や落ち着きを与えることを意図している。

平面計画では、社務所としての機能を充実させるだけでなく、地域の集まりや交流の場としても活用できるよう各室の広さや配置を計画した。

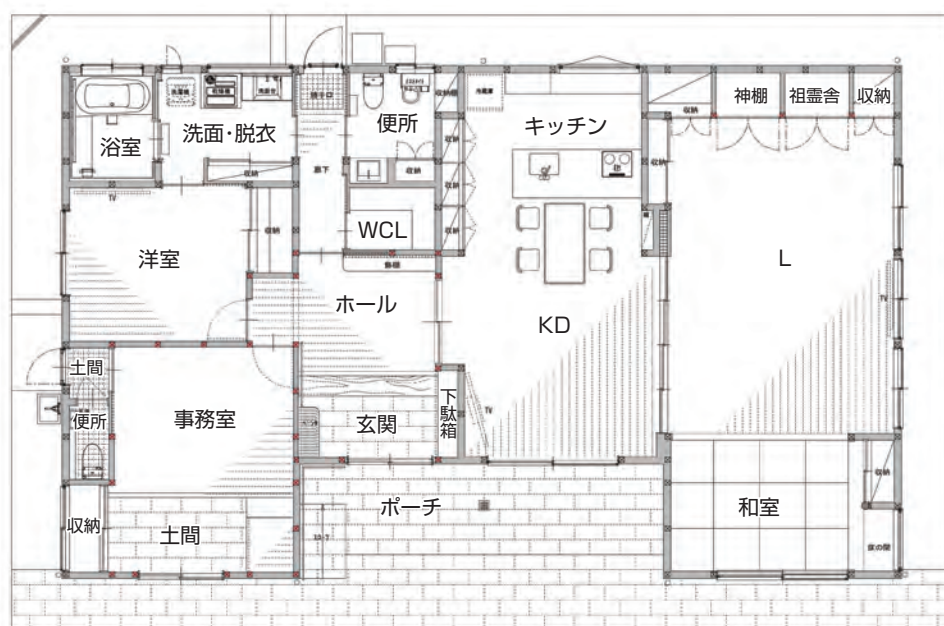
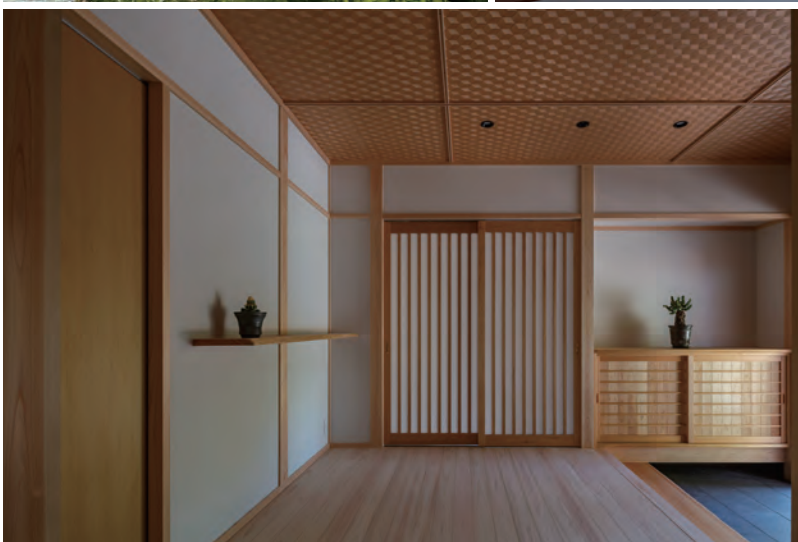
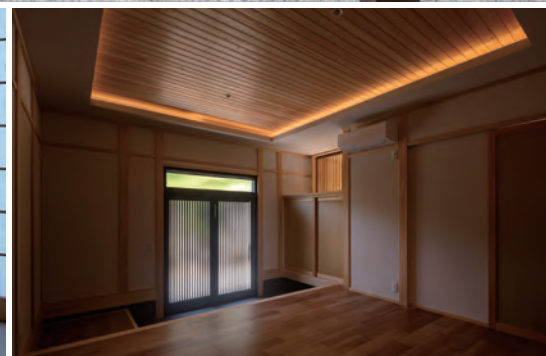
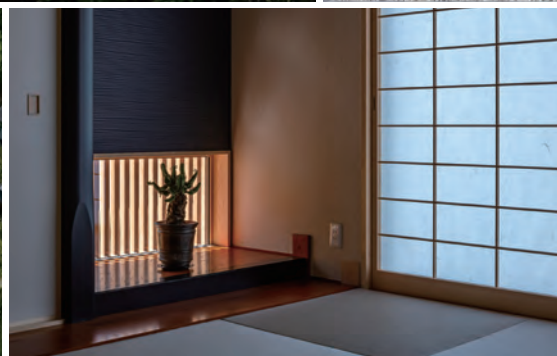
神社を訪れる人々だけでなく地域住民にも親しまれ多様な活動を受け入れる空間を目指している。

歴史あるこの地で、自然や地域と調和し、人と人とのつながりを育む建築となること。

そして、風景に溶け込みながら、訪れる人の心に静かに寄り添う存在となることを願い、本計画を設計した。

【建築概要】

所在地	岩国市横山2丁目337番8	工期	2025年9月～2026年4月
設計監理	㈲梅木建築設計事務所	主要用途	社務所
	スイッチ建築設計事務所	構造	木造平屋建
施工	トウゴー建設㈱	敷地面積	495㎡
		建築面積	160㎡
		床面積	148㎡



平面図